

2020年農林業センサスの結果が公表されました。

昨年調査が行われました「2020年農林業センサス」について、結果が公表されましたので、阿賀野市に関するデータを一部紹介します。

農林業センサスは我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し提供することを目的に5年ごとに行う調査です。

1 総農家数

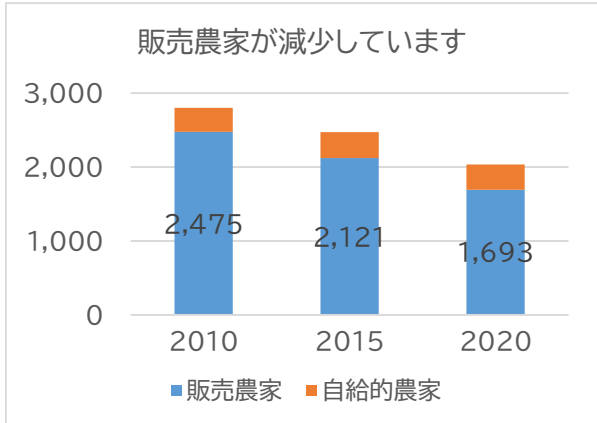
総農家数は2,035戸で、前回調査の5年前に比べて435戸（△17.6%）減少しています。このうち、販売農家数は1,693戸で、428戸（△20.1%）減少しています。

表 総農家数

年	総農家数	販売農家	
		販売農家	自給的農家
2010	2,798	2,475	323
2015	2,470	2,121	349
2020	2,035	1,693	342

単位:戸

図 販売農家と自給的農家の割合とその変化



2 農業経営体数

農業経営体数は1,731経営体で、前回調査の5年前に比べて418経営体（△19.4%）減少しています。また、組織形態別にみると、法人化している経営体は32経営体で、4経営体（14.2%）増加しています。

表 農業経営体数 組織形態別経営体数

年	農業経営体	法人化している					法人化していない	個人経営体
		小計	農事組合法人	株式会社	各種団体	その他の法人		
2010	2,495	15	1	14	-	-	2,480	2,476
2015	2,149	28	2	23	3	-	2,121	2,121
2020	1,731	32	9	22	1	-	1,699	1,697

単位:経営体

3 主副業別経営体数

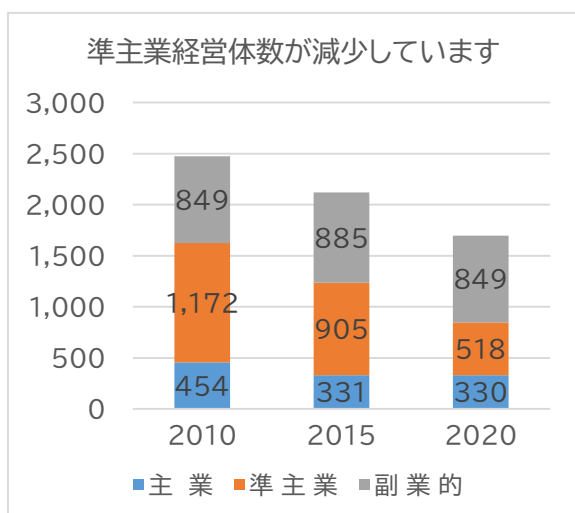
個人経営体の主副業別内訳は、主業経営体数は330戸で前回調査の5年前に比べて1戸（△0.3%）減少しています。一方、準主業経営体数は518戸で387戸（△42.7%）減少しています。

表 主副業別経営体数

年	計	主業		準主業		副業的 経営体
		経営体	65歳未満の農業専従者がいる	経営体	65歳未満の農業専従者がいる	
2010	2,475	454	318	1,172	445	849
2015	2,121	331	244	905	267	885
2020	1,697	330	217	518	224	849

単位:戸

図 主業・準主業・副業的経営体の割合とその変化



【用語】

主業農家	農業所得が主で（農家所得の50%以上が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家
準主業農家	農外所得が主で（農家所得の50%未満が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家
副業的農家	1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）

4 経営耕地の状況(経営耕地、うち所有、うち借入)

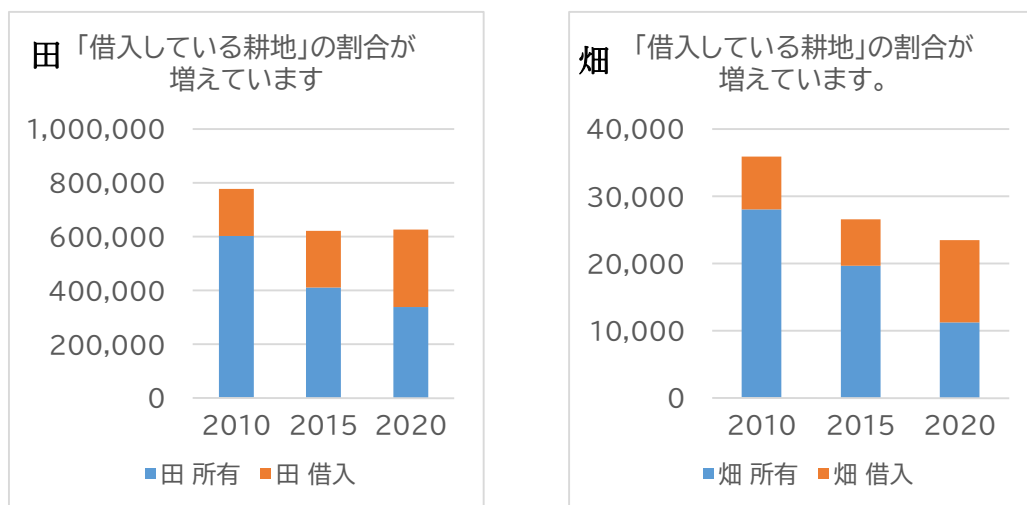
経営耕地面積のうち田は、626,418a で、前回調査の5年前に比べて4,787a (0.7%) 増加しています。一方、畑は23,486a で、3,095a (△11.6%) 減少しています。

図 経営耕地の状況(経営耕地、うち所有、うち借入)

年	田				畑(樹園地を除く)				樹園地			
	うち所有 している耕地		うち借入 している耕地		うち所有 している耕地		うち借入 している耕地		うち所有 している耕地		うち借入 している耕地	
	経営 体数	面積	経営 体数	面積	経営 体数	面積	経営 体数	面積	経営 体数	面積	経営 体数	面積
2010	2,481	602,891	971	174,431	1,780	28,053	104	7,886	40	1,261	6	433
2015	2,118	411,150	896	210,481	1,434	19,705	83	6,876	30	1,069	7	393
2020	1,686	338,795	827	287,623	902	11,275	77	12,211	24	740	4	100

単位:a(アール)

図 所有・借入している経営耕地面積の割合と変遷



単位:a(アール)

【用語】

樹園地	果樹、桑、茶などの木本性永年作物を1a以上集団的に栽培するもの。
-----	----------------------------------

5 家畜等を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭数

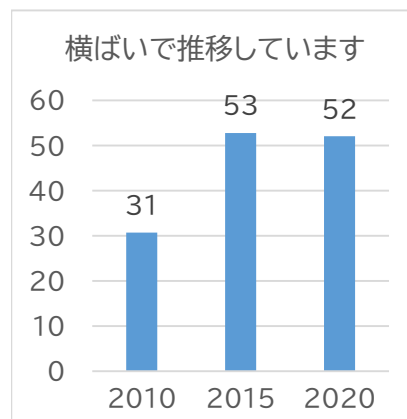
乳用牛の飼養経営体数は16経営体で、前回調査の5年前に比べて1経営体（△5.8%）減少、飼養頭数は832頭で、65頭（△7.2）減少しています。

表 家畜等を販売目的で飼養している
経営体数と飼養頭数

年	乳用牛		肉用牛	
	飼養経営体数	飼養頭数	飼養実経営体数	飼養頭数
2010	24	736	21	1,931
2015	17	897	18	X
2020	16	832	18	X

単位：頭

図 1 経営体あたりの飼養頭数(乳用牛)



【用語】

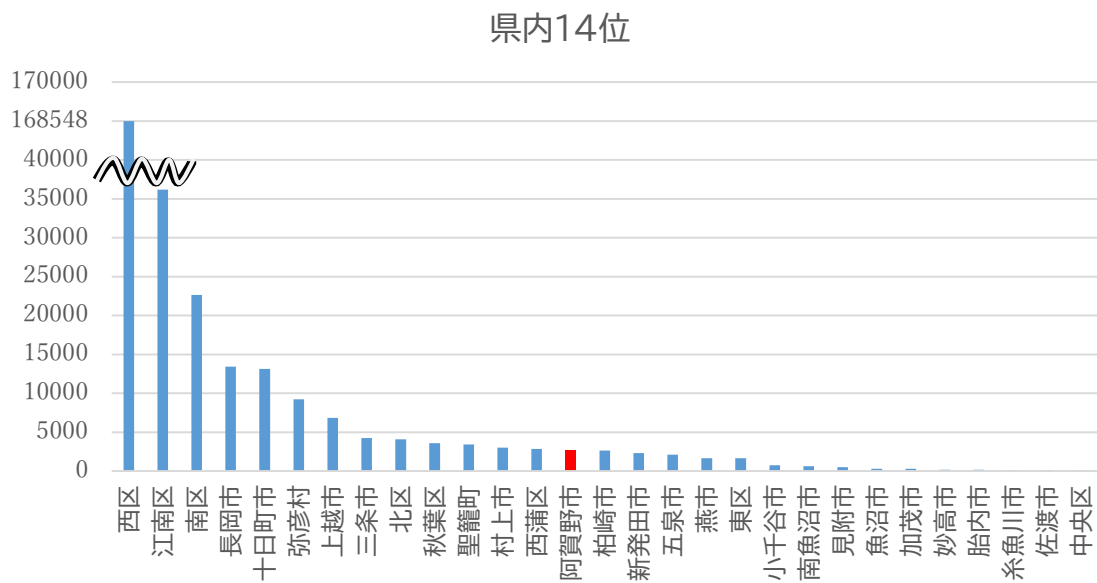
X	個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
---	--

[参考] 都道府県設定項目

表 えだまめの作付け延面積・過去1年間の出荷量及び販売額(主な地区別)

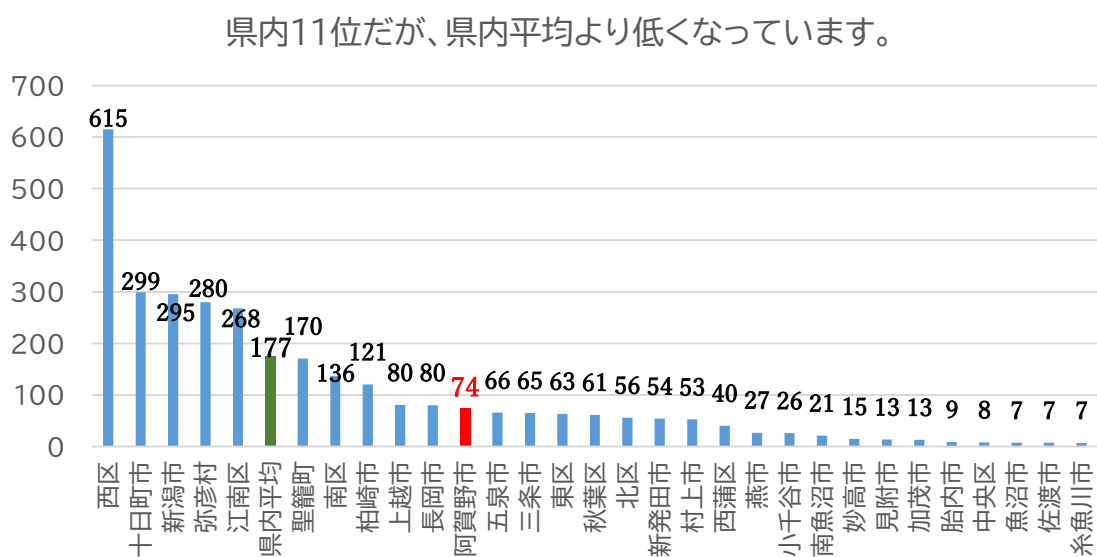
	1 過去1年間に販売を目的として作付けしたえだまめの作付け延面積(けい畔は含まない) (a)	2 えだまめの過去1年間の出荷量 (kg)	3 えだまめの過去1年間の販売額 (万円)	回答のあった経営体数 (経営体)
新潟市	45,148	2,121,490	239,559	811
北区	991	23,484	4,082	73
東区	561	21,744	1,650	26
中央区	28	718	66	8
江南区	2,295	55,297	36,163	135
秋葉区	1,813	43,299	3,562	58
南区	8,227	293,566	22,632	166
西区	30,020	1,637,615	168,548	274
西蒲区	1,213	45,767	2,856	71
長岡市	6,135	166,257	13,424	167
三条市	1,269	55,069	4,250	65
柏崎市	1,976	49,185	2,651	22
新発田市	1,235	37,215	2,317	43
小千谷市	223	5,115	723	28
加茂市	90	1,286	269	21
十日町市	7,383	169,620	13,150	44
見附市	181	5,123	485	36
村上市	1,068	28,257	2,997	57
燕市	1,075	24,620	1,664	62
糸魚川市	104	3,459	136	19
妙高市	123	1,276	162	11
五泉市	1,036	26,819	2,104	32
上越市	6,487	100,615	6,838	85
阿賀野市	1,437	38,362	2,675	36
佐渡市	94	620	123	17
魚沼市	194	2,675	270	37
南魚沼市	159	4,873	606	29
胎内市	89	1,309	150	17
聖籠町	1,063	38,181	3,408	20
弥彦村	2,547	118,226	9,239	33

図 えだまめの過去1年間の販売額(主な地区別)



単位：万円

図 えだまめの過去1年間の経営体あたりの販売額(主な地区別)

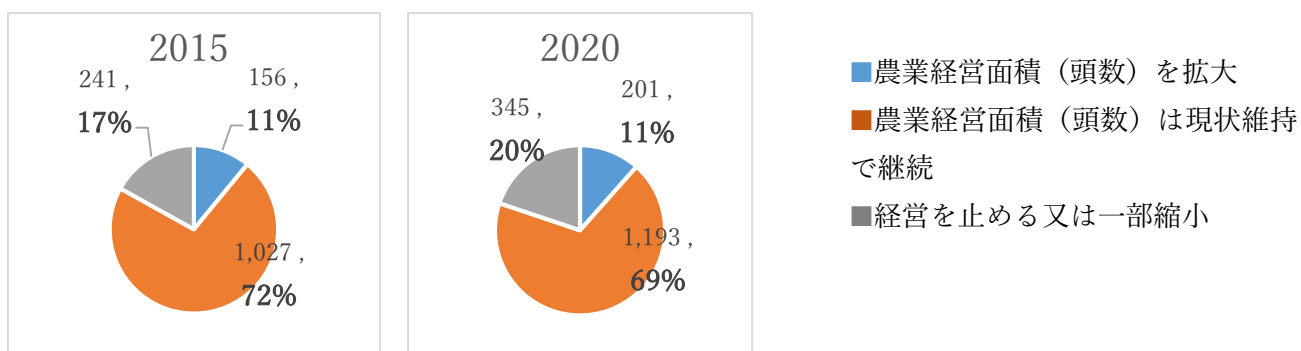


単位：万円／経営体

表 今後5年間の農業経営の継続意向について

年	回答のあった経営体数	農業経営面積(頭数)を拡大	農業経営面積(頭数)は現状維持で継続	経営を止める又は一部縮小
2010	—	—	—	—
2015	1,424	156	1,027	241
2020	1,739	201	1,193	345

図 今後5年間の農業経営の継続意向について(構成割合)

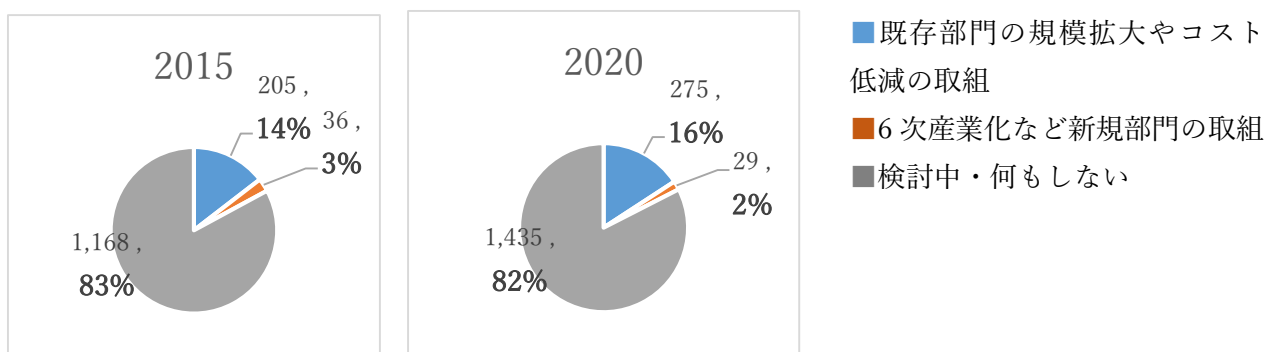


構成割合に大きな変化は見られませんが、「経営を止める又は一部縮小」と回答している割合が3%上昇しています。

表 今後、所得の拡大に向けてどのような取り組みを行うかについて

年	回答のあった経営体数	既存部門の規模拡大やコスト低減の取組	6次産業化など新規部門の取組	検討中・何もしない
2010	—	—	—	—
2015	1,409	205	36	1,168
2020	1,739	275	29	1,435

図 今後、所得の拡大に向けてどのような取り組みを行うかについて(構成割合)



構成割合に大きな変化は見られません。